

◇佛前の香烟は絶ゆること
があつてもよろしいか、寺
院にあつては燈明の智火は
消えないことを本則としま
す。但し在家においては朝
夕の勤行に點すればよろ
しく。燈油は胡麻油、種子油
などを可とし石油だけは避
くべきであります。蠟燭も
固より結構です。

◇寺院の梵鐘は在家の人があ
撞くことはないわけですが、
聞き方として心得ておくべき
ことです。時の鐘は初めに軽
く三つ、それから時刻の數
だけを撞くべきもの。無常
の鐘は三つ、火急の鐘は亂
打と知ること。

◆祈願のときの念珠(数珠)
の摺り方は右手の中指に母
珠をかけ、左手の中指に緒
留をかけ、弟子を外にして
左掌を仰向け右掌を覆ふ程
の心もちで摺り出すやうに
すべきものです。

程であります。お經本は
み佛のみ教へでありお言葉
でもあるのですから決して
粗末に扱ふべきではありま
せぬ。

◇お經本をたづさへて他へ
赴くときには經本を包ます
に懷中に入れてゆくが如き
は法儀を知らぬ致し方であ
ります。快入のものはその
まゝにてもよろしいけれど
折本その他の經本は必ず清
淨な帛紗に包むべきもので
はあります。

種香、七種香など香氣の佳きものほど結構ですが一般在家とすれば必ずしも高價なもの用ゆるに及びませぬ。名香ならば焼かすとも盛り置くのみでよろしとの説もありますけれど、これは特別の儀式の話であつて普通の法會には焼くべきものであります。

物を供へますが、野菜の新鮮なものが宜し。

【朝】味噌汁——かぶ
小付 富貴豆

【晝】煮物——湯葉 里芋
小付 あみつくた煮

【晩】白菜鍋（白菜 芝海老 里芋）柚子わん
煮物 鮪味噌煮

を得るためのものではないから、暑中といへども法會中にこれを開いて扇ぐやうなことを致してはなりませぬ。

◆また僧侶が拂子を振ふのは右手に持ち静かに三遍左右に動かすものです。力を

入れ強く打ち振ることは達式であります。

◆日蓮宗の所談に從へば、

〔三〕
佛前法要の心得
眞懶雲山

の供物は膳には白紙を布き
箸は折紙に包みます。
◆精進料理を供へるには五
種の蔬菜を一膳に盛ります。
何品を供養してもよろしい
のですけれども辛味のある

臺または扇子などの上に載せるものです。踏み恐れある場所や疊の上にジカに置さではありませぬ。

仕合の扇を持つは式用としての道の具であつて、風

刊夕 日九月十
新開日吉書院

定價一兩金武鑄
夕月全金鑄
萬國說五國十二字
成告將五國十二字結一行
金五抬錢
日理
朝日
日休
利
興行
常
鑄
銀
一
街
市
通
用
中
國
人
民
政
府
印
發

外科一般
内臓外科 レントゲン科

川外 科

諸機械製作販賣

◇機械切各種齒車製作

造花

是非！

公債 債券 質物 一般

舍旅大美館

主人 比佐 棟雄

赤十字と愛婦の

総會に平町から出席者

秋季衛生

各町村日割

日本赤十字社第四十四回總會並に愛國婦人會第三十五回通常總會來る十一月六日前と午後に分かれて東京市赤坂區權田原憲法記念會館で開催されるが平町の兩分會からの出席者は左記の諸氏である

丹野マセ 大和田コト

杉本久枝 根本フミ 吉

田美代子 松崎マツ 阿

部チヨ 四家ムメヨ 檜

山ナヲ 石島サダ 猪狩

シゲ 高橋フミ 久野喜

代子 大津賀うた子 谷

ロトヨ子 青天目光子

久野久子 吉田よね子

鈴木アサ子

尚日本赤十字社の有功章御

親授式は前日の五日に行は

れるが平町分會からは

百澤易興 川又章二 山

廣次 大河原清 鶯

の六氏が出席する

オリムピックの旅

【吉】

辯護士

松野尾繁雄

水泳決勝の日

決勝は十五日、その前日の十四日は曇り、後には雪となつて氣温は下るし、日本選手には一番若手の日である。氣の早い外國人は冬が一等、日本はかつての優者清川選手が漸く五等といつた。然し此の日百米背泳で日本が負けたのは、強氣候の故ではないらしい。前回ロスアンゼルスで三本

高橋フミ 久野喜代子 大津賀うた子 谷ロトヨ子 青天目光子 久野久子 吉田よね子 鈴木アサ子

尚日本赤十字社の有功章御親授式は前日の五日に行はれるが平町分會からは

百澤易興 川又章二 山廣次 大河原清 鶯の六氏が出席する

ふ成績も、實力の結果であつたようだ。しかし、競泳六種目のうち、ハンガリー、日本が各一、米は二、残る十五の二百、千五百こそ、水泳日本は、その誇りを賭けての大決戦となつたのである。

此の日眼をさましまづ久

いの快晴を喜んだ。日本選手はとつて氣温が低いし、本選手はとつて氣温が低い。

しぶりの快晴を喜んだ。

本選手はとつて氣温が低い。

しぶりの快晴を喜んだ。

君は之を聞いて
釜「この蝦夷地を獨立國と
認め又我々のなす處を見て
新政府などと思はれでは甚
だ迷惑千萬、元來當蝦夷地
は純然たる日本 天皇陛下
の領土にござる、我るは忠
良なる日本 天皇陛下の臣
民、獨立などとは思ひいら
ざる事、従つて貿易また國
交上に關する件は我々が容
喙すべき筋ではござらぬ、
元來我々が此地に參つたも
新政府に背いて旗をあげる
所在ではござらぬ、國家に
つくさむため、父母に別れ

るに至り、誠に至尊に對し畏多き事でござる、就ては我々が是に參つた其目的を今此處に開陳致すでムラウ
……』
とそこでその趣意を説いて
たが、英佛の兩艦長はこれも
を聞いて
兩氏『御心中をお察し申す
さすがは他國に類なき皇室
をたうとむ夫ぞ大和魂實に

詎致す 德川家が今造養ひ
置いた兵は約三十萬人、夫
が今度徳川の所領は減ぜら
れて七十萬石、之では三十
萬人の人々を養ふ事は出来
ない、さりとてこの人々が
商人になる事も出来ぬ、三
河以來の士風を守り居るも
のとて、今度厘毛を争ふ商
人になつて土を渡る事はな
りますまい。不毛の地と



外科 內臟外科 院 長安 齋 徵
婦人科 新設 院 長安 齋 徵
產婦人科 黑澤 廣
△入院隨意△
平明 田町
安 齊 院
電四七五院

國軍艦サトリツト及佛國軍艦ウエニコスの艦長等は五稜廓に來て榎本釜次郎、永井玄蕃の兩氏に會見して兩人「この度當地平定致したは目出度い事でござる、就ては日本に滯在致し居る我國公使の命令に依つて今日之迄出張致したが、そればこの瑕夷也はあなど方り

軒圖玉作
尾至陽當

敬服致した、及ばぬ乍ら吾々は公使とはかり新政府とあなた方の意志の疏通致す様御尽力申すでござらう、就ては新政府へ書面を提出する恩召があらばお取次申すでござらう』

とかう申しました、そこでその趣を書面にして、この度艦長の周旋にて、英國の公使の手を経て明治政府に差出す事にした、その上奏文は心血を注ぎし事とて鬼神をして泣かしむる程の赤心の籠りし文章であるが之は長文ですから簡短にお

致しゐる蝦夷地に參つて、こゝを開拓して衣食の料と地を守り、一朝事あつた時には身命をすて、御奉公を致す、然るに我々の意志をも聞かず當地を守備致し居る朝廷の大官は、我々野心あるものと思ひ、何等問ふ處もなくして兵を出された爲めに止むを得ずこゝに戰を開く事になつたが、之を吾々の本意ではござらぬ、何ぞこの事御諒察下されど吾吾の願意をお聞き届け下さらば有難き事であると、かういふ文意です。英佛の二艦長はこの書面をうけ取つて戻つた。其後この五稜廓に居られた人々が、願意勅許(おをひまでこれを開票の結果、大總裁が榎本釜次郎、副總裁は松平太郎、海軍奉行が荒井郁之助、陸軍奉行が大島圭介、陸軍奉行並十方歳三、國館奉行は松鈞奉行人見勝太郎、江差奉行松岡四郎次郎、同奉行並小杉雅之進、開拓奉行灘太郎左衛門、これ等の人々をつきて室蘭にうつり、松前、江差には守備をおき、開拓奉行は二百五十五人をつれて室蘭にうつり、開拓かたはら同方面の守備をすることにいたした。

耳鼻咽喉科

外
科
花
柳
病
科
レ
ー
ト
ゲ
ン
科

高久病院